



野木小だより

平成29年2月17日
— 第13号 —
野木町立野木小学校長
江田 裕之

第2回学校評価結果がまとまりました！②

ビジョン

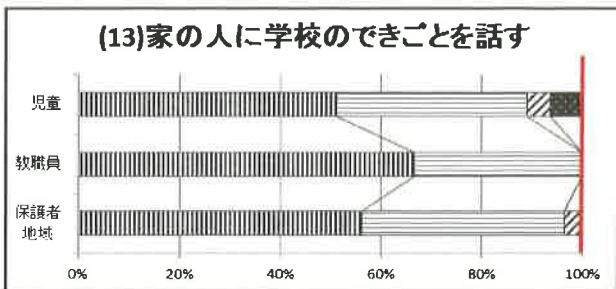
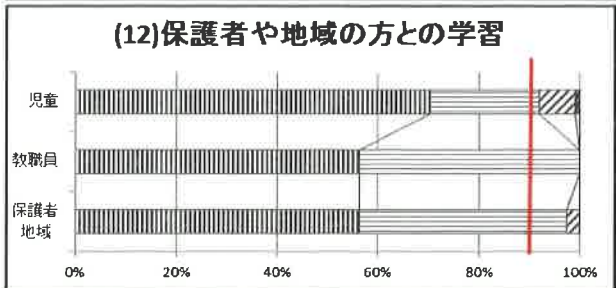
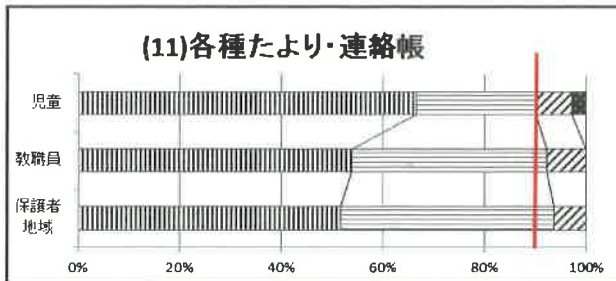
夢や希望を持てる教育活動を通して、子どもたちや保護者、地域の皆様、教職員の幸せな時間づくりを応援します。



(注) 赤の縦線は、児童アンケートにおける指標

【努力点4】「つながろう」

家庭や地域、関係諸機関との連携による開かれた学校づくりの推進



3項目とも指標をほぼ達成し、おおむね良い状態です。3年間の経年比較からも「よくあてはまる」の回答が年々増えてきています。特に

教職員は、(13)において過去2年間との違いを感じ取っています。【努力点3】「深めよう」で取り組み始めた「1行日記」と関連していると考えられます。学校支援ボランティアの皆様の協力の輪が広がっています。信頼できる多くの大人の関わりにより、児童の学びは年々豊かになってきています。そして、信頼できる大人がいてくれる安心感や見守ってもらえる幸せを実感しているように思います。今後も、学校生活での児童の様子によりよく伝わるようにホームページを工夫していきます。



すべての教育活動を通して、児童に「4つの力」を身に付けさせたいと考えています。この4つの力を伸ばしていくことが、結果として「学力向上」につながると確信して実践してきました。

自分発見力 規範意識 人間関係力 学ぶ意欲

「自分っていいな」と思える自尊感情を育む取組、思いやりの心を育む集団づくり、異年齢集団活動や委員会、係活動を通し責任感や達成感を育むことをこれらの具体策としました。また、各教科等の授業において、児童が、学びの手ごたえを実感できるように【**つかむ・おさえる・深める・見つめる**】という展開を試みています。



皆様方からいただきました貴重なご意見をもとに、次年度の計画作成に生かしたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。

ソフトバレーボール大会でPTA会員の親交を深めました！

2月14日（火）、PTA学年対抗ソフトバレーボール大会が行われました。学年別対抗の総当たり戦、各チーム6試合ずつ行いました。年々参加者が増しており、今年度はP会員の8割を超える69



名が参加して、熱戦が繰り広げられました。底冷えのする体育館でしたが、珍プレー、好プレーの連続に大きな拍手と歓声

絶えることはありませんでした。どの学年もP会員同士のつながりは強く、チームワークよく試合を進めていました。試合を終えると、学年の別なく笑顔で語り合う姿が多く見られ、楽しいひとときを過ごすことができました。見事優勝の栄冠に輝いたのは、1年生チームでした。

第4回の授業参観を実施しました！

2月14日（火）午後、今年度4回目の授業参観及び学級懇談会を開催しました。算数や体育、道徳の授業に加え、4年生は、学級活動で「二分の一成人式」を実施し、将来の夢、就きたい



職業や保護者への感謝の気持ちを発表しま

した。6年生は、卒業を間近に控え、これまでに学んだこと、体験したこと、出会った人、感じたことなどを自分の言葉で考えをまとめ、表現しました。



今年度最後の授業参観であり、多くの皆様に参加していただき、ありがとうございました。

異年齢集団活動(なかよし班)で学びを深めています！

1・2年生は、なかよし班活動を、各教科の授業や学校行事（遠足）に広げて行ってきました。

2月8日（水）、「一日入学」を行いました。29名の新入生を予定しており、本校にとっては最も人数の多い学年となり



ます。生活科の時間を使い、新入生をもてなす「なかよしパーティーへようこそ！」の準備を進めました。1年生は「な

かよしパーティー」の進行、2年生はアトラクションとして手作りゲームを考えました。子どもたちがアイデアを出し合って1つ1つの演出をしたり、ゲームを工夫したりしたことがよく伝わってきました。

翌日、今度は6年生を招待しました。お世話になった6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えたいのです。6年生は、大きな身体を折り曲げ、どの遊びの場でも前かがみをしながらにっこりと微笑んでいました。教室や廊下には、幸せな時間と温かな空気が流れていました

2月13日（月）、第6回「考える朝会」を実施しました。今回は、今年度の最終回でした。「心と心がつながるために、あなたは何をしますか？」というテーマで話し合ってもらいました。低学年にとってはかなり難しいテーマですが、6年生のリーダーは慌てることなく話し合いを進められるようになっていました。



「けんかをしないでみんな仲良くする」「相手の気持ちを考えて話す」「自分の考えを述べ、相手の話も最後まで聞く」「ありがとうを伝える」などが挙げられ、いずれも理由が添えられています。班の中で話し合うことも、聴くことも回を重ねることにしだいに上手になってきました。